人とAIの得意を生かし合う

人とAIは、どのように力を合わせるとよいだろう

AIの得意

たくさんの情報を
速く処理する

くり返し出てくる形
（パターン）を見つける

つかれずに、
くり返す

例：学級新聞をつくる

1 人 **目的とテーマを決める**
「運動会のがんばりを伝えたい」

↓

2 AI **見出しの案を出す**
アンケートの集計を手伝う

↓

3 人 **案を選ぶ・直す**
正しいか確かめる

↓

4 人 **自分たちの新聞として仕上げる**
できたものに責任を持つ

人の得意

目的を決める

相手の気持ちを
考える

よさや正しさ・
美しさを判断する

責任を持つ

AIが進化しても、目的を決めたり、よさ・正しさ・美しさを判断したりできるのは、人の大きな強み

※ 例は架空。AIの得意・苦手は、技術の進歩で変わることがある。